



「北出丸大通り」は、会津若松市役所から若松城（鶴ヶ城）の北出丸入り口に通じる道路である。この道路沿線にある歴史的文化遺産を背景として生かし、若松城への歴史ロードをキャッチフレーズに歴史的景観に配慮した整備が行われた。

沿道には、多数のサクラの古木があって市民の愛着も深いため、既存の木を保護する目的で土の状態を残すとともに、新たなサクラの補植を行い、桜並木により若松城への誘導を図る道とした。

また、歴史的景観に配慮して御影石を用いた歩道の石畳舗装化・車止め・緑石の設置、灯籠風の歩道照明の設置のほか、電柱・電線の移設を行って空間を広げ、堀割り水路や慶山石のベンチなどを設け、市民や観光客にやすらぎと憩いの空間を創出している。

DATA・BOARD ⑥

- ① 福島県会津若松市東栄町3番46号
- ② 延長：385m、幅員：18～18.8m
- ③ 堀割り、車止め、照明灯、ベンチほか
- ④ 植栽、御影石、慶山石、白河石、銅物ほか
- ⑤ 春まつり、秋まつり、各種イベントほか



6

北出丸大通り

● ふるさとを紹介する道